

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	福祉用具・住宅改修支援事業	2-37
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	村上 弘晃

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	居宅介護支援事業所が住宅改修のみのケアプランを作成した場合、ケアプラン作成料が支払われないこととなっていることから、「住宅改修理由書」を作成した居宅介護支援事業所等に手数料を支給することにより住宅改修事業を支援する。		
(2)事業開始年度	平成15年度	(3)事業終了年度	永続
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	魅力あるまちづくりの推進	
	施策コード	20203	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	住み慣れた自宅で、長く自立した生活を送れるようにするため。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	高齢者の住みやすい住宅環境を整える。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	住宅改修費の支給申請にかかる「住宅改修理由書」を作成した居宅介護支援事業所等に対して、1件あたり2,000円を支給する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	住宅改修相談事業
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	16	12	12	30
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	3,453	3,314	3,588	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	3,469	3,326	3,600	
事務に従事した正職員延べ人数	0.40	0.40	0.40	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収 入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支 出	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
	計(B)	0	0	0	0		計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
申請者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	8	6	6	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
支給者数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	8	6	6	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	3	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			ウ 事業内容
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
コスト削減は可能か			目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	総合評価の参考にしてください。
さらなる受益者負担は可能か			7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E
			14

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		事業実績は低いものの、住宅改修を支援する事業として適切に実施した。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		住宅改修を推進するために継続する。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		居宅介護支援事業所等が、ケアマネージメントの一環として実施する「福祉用具や住宅改修」に係るプラン作成の手数料を支給し、支援することにより、要介護者の住宅環境の改善に寄与している。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		住宅改修や福祉用具だけのケアプランの作成自体は、実績として少ないが、要介護者等への適切な住宅環境整備を促進するために、プラン作成をする事業所等を支援する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		